



平成23年1月 盛岡市三本柳6-1-1 盛岡赤十字病院 地域医療連携室 発行責任者 院長 沼 里

進

岡赤十字病院医療連携だより

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を 守るために、信頼される医療を実践します。

→ NST活動報告新春拡

- 口腔ケア連携事業覚書調印式 社団法人盛岡市歯科医師会
- お口みがき隊とNST専門療法士のご紹介

NST専門栄養十 子 NSTチェアマン 加 博 史

協 年も地域医 春 力賜ります げ 寿ぎ謹 うござ してお 上げます 長 1, 様よろ N 沼 連 7 ţ 里 お 慶 谁



新年、明けましておめでとうございます。

本年も当院NST (Nutrition Support Team:栄養サポートチー ム)をよろしくお願いいたします。

昨年末に私どもNSTで嬉しい出来事が二つございましたので、ご紹 介いたします。

昨年より、岩手県歯科医師会のご協力のもと、口腔ケアについてご 指導いただいていていることは前回ご紹介いたしましたが、この度、 より地域に密着した活動ができる様、岩手県歯科医師会のご尽力によ り、盛岡市歯科医師会との口腔ケア連携を行う運びとなり、平成22年 12月9日に『口腔ケア連携事業覚書調印式』が挙行されました。これ を機会にますます歯科医師会との連携、栄養管理と口腔ケアの重要性 を拡大できることを願っております。

院内ではNSTの看護師による『お口みがき隊』が結成され、職員へ の啓蒙や患者様へのケアを開始しております。入院患者様には、口腔 乾燥、義歯不具合、開口障害など多くの悩みを抱えた患者様がおられ、

保湿剤、研磨剤、洗口液の選択や使用法、ブラッシング指導、姿勢指導など月2回、歯科医師会 よりご指導いただいております。歯科のない当院では、この『お口みがき隊』が中心となり口腔理構(盤 ケアが広がることが期待されます。ご指導くださっている岩手県歯科医師会専務理事佐藤保先生、 佐藤たもつ歯科医院の赤坂幾子歯科衛生士(岩手県歯科衛生士会理事)をはじめとする多くの先 旭博史 (副院長でNS 生方に改めてこの場をお借りし、御礼申し上げます。また、今回の調印を機会に、ますます歯科 Tチェアマン) 医師会との連携、栄養管理と口腔ケアの重要性が認識されることを願っております。

そしてもう一つ嬉しい出来事がありました。当院のNST専門療法士は、管理栄養士1名のみで したが今回、専門薬剤師、専門看護師の各1名が加わり、3名となりました。梅村景太薬剤師と 佐々木恵看護師で昨年11月に合格しました。NSTは、個々の患者様、それぞれの疾患治療に応じ て適切に栄養管理を多職種で実践するチームです。静脈栄養や経腸栄養の投与計画、摂食・嚥下 障害、食思不振、退院後の栄養管理を含めたプランニング、過栄養・低栄養など様々な内容に対 応しています。そこに口腔ケアも加わり、幅広く多面的に「栄養サポート」を行っています。多 職種のNST専門療法士が院内から誕生することは、大変喜ばしいことで、今後のNSTの飛躍に大 きな貢献をする者と考えます。経口摂取を含めた経腸摂取、静脈栄養の「栄養管理」のうち、「口 から食べる喜び」は皆の共通したことです。経口摂取は生命維持のみの目的ではなく、嗜好や食 習慣等の多くの要素に関係し、食の満足度を向上させることが可能であると思われます。ところで、 患者様の生活は「在宅」が中心であり、在宅でいかに栄養管理を行うかがポイントになります。 ここに必要なのが医療機関の連携です。栄養管理は全ての疾患治療の上で共通する基本的治療の一 つであり、地域連携された栄養サポート(地域一体型NST)が必要です。今回の連携はこの一翼 を担う者として大いなる発展を期すものです。新しく連携された口腔ケアをはじめ、NST活動を 地域の医療機関の皆様と行ってまいりたいと思います。本年も皆様のご指導ご鞭撻の程、よろし くお願いいたします。



右から、佐藤保様(岩 手県歯科医師会専務





■『お口みがき隊』の [伊藤敏子看護係長] 〔佐々木恵看護師〕 〔川原純子看護師〕



〔鈴木聖子 [佐々木恵 N S T 専門看護師〕 N S T 専門薬剤師)



+ 診療科紹介 +

総合内科の御紹介

第一総合内科部長 菅 原 俊 郎



皆様には何時も総合内科を御利用いただきありがとうございます。当科は名前の通り色々な疾患を取扱っておりますが、人員の関係で二つのグループで分担しております。一つは主に血液疾患を診るグループ(村井啓子、足澤美樹、鈴木雄造)で、岩手医大血液内科の支授を受け、平成21年の疾患数は入院・外来を合わせて約450名でした。もう一つは主に糖尿病を診るグループ(菅原俊郎、三浦秀悦)で、入院218名の入院の内、糖尿病は114名でした。その他の入院としては発熱(不明熱、感染症)の占める割合が多くなっております。入院患者さんは70歳以上が50%近くと高齢者が多く、転院に際しては多くの連携病院のお世話になっております。外来診療は二診で行っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



産婦人科の御紹介

第二産婦人科部長 藤 原

純

我々のスタッフは合計 6 名(松田壯正、藤原純、菅原英治、舟越真生、畑山寿緒、高取恵里子)で、外来(1日患者数約120名)及び病棟(ベッド数約80床)、分娩(月に約80件)、手術(月に約70件)をそれぞれ分担して行っています。各連携医療機関からのご紹介のお陰をもちまして良性疾患、悪性疾患とも手術は増加しておりまして、特にここ数年内視鏡手術にも積極的に取り組むようになりました。ご紹介いただいた患者様は特別な事情が無い限り受け入れ、できるだけ患者様の希望に沿った手術、治療プランをたてているつもりでおります。周産期に関しましては、県のシステムに従い、中等度リスク分娩の管理及び搬送の受け入れを、小児科、麻酔科と連携しながら行っています。諸事情で受け入れをお断りすることもあり申し訳なく思いますが、可能な限りお引き受けしたいと思いますので、重症化する以前に早めにご相談して頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

外科、小児外科紹介

第一外科部長 杉 村 好 彦

当科は常勤4名(杉村好彦、畠山元、川村英伸、藤沢健太郎)に、大学からの若手医師および不定期ではあるが初期研修医も加わり、診療に当たっております。 常勤4名は全て外科専門医であり、指導医も3名、内視鏡技術認定医2名おります。

紹介後の対応

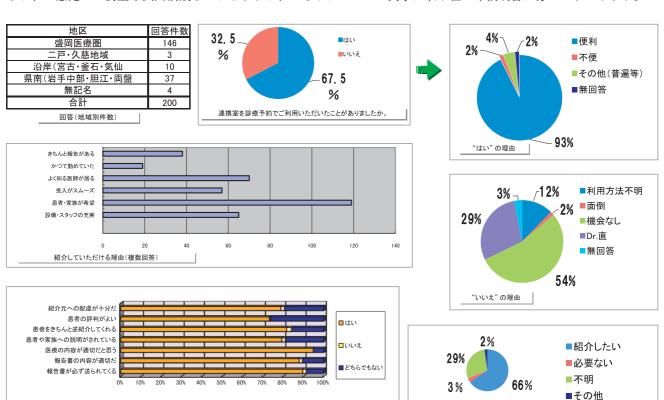


外科ですので手術が主な診療となります。平成22年は手術総計728例を数え、平成21年より約50例ほど増えました。緊急手術は134例でした。内視鏡手術は全身麻酔症例の34%となっております。これらはひとえに地域連携医療機関、関係各所の皆様のご協力の賜物と感謝しております。その他、地域医療としてパスを使って内視鏡的胃瘻造設も手がけ、平成22年は71例に施行し皆様の下へお戻ししております。

当科のモットーは笑い、そして忙しい中にも笑顔です。皆様からのご依頼に対しては常に迅速に対応する ことを心がけておりますので、今後ともよろしくおねがいもうしあげます。

地域医療連携に関わるアンケート調査結果のお知らせ

過日実施の標記アンケートには、ご多用中にも関わらず盛岡医療圏を中心に県内各所より200件を超えるご回答を頂戴いたしましたので、その結果から一部ご報告させていただきます。ご協力いただいた医療機関様には心から御礼申し上げます。なお、ご意見・ご要望も沢山頂戴しておりますが、こちらについては真摯に取り組み今後改善に努めてまいります。



教育入院について